

配 布 資 料

令和5年 第3回平塚市博物館協議会 次第

令和6年3月22日（金）午前10時
平塚市博物館特別研究室

1 開会

2 議事

（1）報告事項等について

- ・令和5年度秋期特別展について
- ・第23回博物館文化祭について
- ・ホームページ・YouTube・SNSについて

（2）令和6年度予定について

- ・令和6年度当初予算について
- ・令和6年度事業計画について

（3）その他

- ・事務連絡等

3 閉会

※会議終了後、春期特別展の展示をご案内いたします。

以 上

令和5(2023)年度秋期特別展「天象儀(プラネタリウム)100年の軌跡」 開催報告

会 期 2023(令和5)年10月21日(土)～2024(令和6)年1月8日(月・祝)
(開催期間:64日)
休館日:月曜日・年末年始(12月29日～1月3日)

主 旨 近代的プラネタリウム誕生から100周年を記念し、普段はあまり意識することがないプラネタリウムのしくみと歴史に注目してもらおうとともに、当館のプラネタリウムの歩みについて振り返ってもらおう。

展 示 構 成 第1章:プラネタリウムってなんだ? 第2章:プラネタリウムのしくみ 第3章:プラネタリウムのあゆみ 第4章:平塚市博物館とプラネタリウム 第5章:広がるプラネタリウム

入 館 者	入館者数			開館 日数	こどもの 割合	平均入館 者数/1日
	大人	子ども	合計			
10月	996	458	1,454	9	31.5%	162
11月	2,273	634	2,907	26	21.8%	112
12月	1,989	800	2,789	24	28.7%	116
1月	493	172	665	5	25.9%	133
期間計	5,751	2,064	7,815	64	26.4%	122

(参 考)	大人	子ども	合計	開館 日数	こどもの 割合	平均入館 者数/1日
R5 夏	6,429	3,709	10,138	39	36.6%	260
R4 春	5,913	2,552	8,465	50	30.1%	169
R4 秋	5,846	2,208	8,054	55	27.4%	146

関 連 行 事

- ・展示解説会: 11月12日(日) 参加:大人 9名、子ども0名
(当日整理券制) 12月27日(水) 参加:大人 6名、子ども0名
1月6日(土) 参加:大人11名、子ども1名
- ・全国一斉プラネタリウム100周年記念イベント:
10月21日(土) 参加:大人38名、子ども14名(応募多数につき定員増)
- ・体験学習「ボックスプラネタリウムをつくろう」:
1月5日(金)午前午後各1回 参加:大人16名、子ども20名
- ・プラネタリウム特別投影「デジタルプラネタリウムのすべて」:
11月18日(土) 参加:大人41名、子ども3名(当日整理券制)
- ・雑貨団シアトリカル・プラネタリウム
「リウマーカイギ ～ある博物館の丸いお部屋で～」公演
12月22日(金) 午後2回 参加:大人55名、子ども20名(申込制)

印 刷 物 図録『天象儀 100年の軌跡』
A4判 128頁 カラー 1,000部 頒布価格 ¥700
開催期間内頒布部数:187部
(参考)R5 夏:48部、R4 春:308部、R4 秋:190部
ポスター B3判 カラー 500部
リーフレット A4判 カラー 3,000部

回答者の住所 平塚市内51名、市外神奈川県内29名、県外関東地方22名、関東以外0名、
(n=103) 海外1名

回答者性別 男56名、女44名
(n=100)

回答者年齢 (n=101)	～19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
	16名	5名	8名	21名	29名	15名	7名

情報の入手先 広報ひらつか 14名、博物館のホームページ 25名、あなたと博物館 4名、
(複数回答可) SNS 10名、新聞等 3名、ポスター 11名、口コミ 7名、その他 38名
(n=112)

おもしろさ 興味ぶかさ (n=103)	とても おもしろい	やや おもしろい	ふつう	やや つまらない	つまらない
	71名	25名	3名	2名	2名
	68.9%	24.3%	2.9%	1.9%	1.9%

難しさ (n=104)	とても よくわかる	まあ わかる	ふつう	やや むずかしい	とても むずかしい
	41名	36名	14名	11名	2名
	39.4%	34.6%	13.5%	10.6%	1.9%

総合評価 (n=104)	とても良い	まあ良い	ふつう	もう少し	良くない
	76名	24名	1名	1名	2名
	73.1%	23.1%	1.0%	1.0%	1.9%

19歳以下のみの結果

おもしろさ 興味ぶかさ (n=16)	とても おもしろい	やや おもしろい	ふつう	やや つまらない	つまらない
	9名	3名	2名	0名	2名
	56%	19%	12%	0%	12%

難しさ (n=16)	とても よくわかる	まあ わかる	ふつう	やや むずかしい	とても むずかしい
	1名	5名	6名	3名	1名
	6%	31%	38%	19%	6%

総合評価 (n=16)	とても良い	まあ良い	ふつう	もう少し	良くない
	9名	5名	1名	1名	0名
	56%	31%	6%	6%	0%

ご意見・ご感想(原文ママ、一部抜粋)

- ・美術館の帰りに通りがかり、こちらに博物館があるのも知りませんでした。「天象儀？」何だろうと思いきスマホで調べたところプラネタリウムのこと、しかも無料！！見学させていただきました。案内をして下さる方もいて、とてもおもしろかったです。元々星が好きですので、子供の頃には渋谷の五島プラネタリウムに行った思い出もあります。無料でいろいろ勉強になりました。プラネタリウムのしくみが(昔の)興味深かったです。川崎は 2019 台風で資料が全て水につかり、休業中です(市民ミュージアムが)早く復興してほしいものです。プラネタリウムは(生田)にありますけどね。展示のご用意ごころうさまでした。ありがとうございます。(60代・女性)
- ・1 つの解説パネルに書いてある情報が多く、文章が長い。文字サイズとの兼ね合いでパネルが大きく読むのが大変。内容は専門的で面白かった。(20代・女性)
- ・とても興味深く貴重な展示をありがとうございました。東京から来たかいたががありました！プラネタリウムの解説もおもしろかったです(30代・女性)
- ・たくさんの貴重な実物が展示してあり、驚きました。よくこれだけ古い物が集まっていると嬉しく思いました。昔からプラネタリウムを見ているので懐かしいです。どうもありがとうございました。レンズ式プラネタリウムが間近に見られて良かったです。ただ実寸大ツァイスが迫力があまりすぎて少し恐いかもしれません。(50代・女性)
- ・プラネタリウムの機器についてなど、考えたこともなかった。玄人の苦勞と又進歩がすばらしいと再認識した。(70代・男性)
- ・むずかしいからわからなかった。ついでにつまらなかった。(小学生・女子)
- ・プラネタリウムの特別展があると知り、ついでに、今まで見ていなかった3階でプラネタリウムを見て来たいと思って来た。天体の再現のために、先人がどのように工夫してきたのか、活用のされ方の歴史など、興味を引く内容が盛りだくさんで、内容も充実していた。これが観覧料無料なのが疑問なほど。(20代・男性)
- ・プラネタリウム側の歴史を考えたことは無かったので、大変おもしろかった。プラネタリウムを見たくなりました。(20代・男性)
- ・平塚市博物館の記念品が売っているといいと思います。(30代・女性)
- ・プラネタリウム、どちらかという機械本体に興味がある者なので、実物が観られてとても良かったです。かつて高校生でピンホールプラネタリウムを作っていましたが、自作するときに大きな課題のひとつはメカ(サーボ)なので一般受けはしないかもしれませんが、そういうことに興味があります。(40代・男性)
- ・火球といえば「平塚市博物館」となって来てますね。天文、宇宙関係の展示は、いつも気合が入っていると感じます。(40代・男性)
- ・プラネタリウムの「投影機」の展示とはとても珍しいと思って来ました。時間がなかったのでかけ足で見ましたがとても興味深く拝見致しました。次はじっくり見たいし、知人にも宣伝します。プラネタリウムが大好きで来たいのですがなかなか機会に恵まれず今月は特別投影がいくつかあるようなのでどれかに参加できたらしたいです。(40代・女性)
- ・プラネタリウムの歴史やしぐみなどをわかりやすく学ぶことができとても満足した。機体にも多くの種類が存在し、各所で稼働していることを改めて実感できた。個人的にはとてもおもしろかった。(10代、40代・女性)
- ・「天象儀(プラネタリウム)100年の軌跡」というタイトルに惹かれてきました。日本がすぐドイツに飛んで導入にこぎつけたのは、ほぼしる感激からだったのだとわかり、さらに感激しました。また天文の知識が戦いのために必要だったとの話には複雑な思いになりました。今話題のSHOGENさんがアフリカのブンジュ村学んだ話に「圧倒的な自然に包まれたとき、人は人をゆるせるんだよ」というお話があります。本来の宇宙を素直に受けとめる心をいつまでも磨きたいと思います。平塚がこんな素敵な展示を開催していることは市民の誇りです。ありがとうございます。(50代・女性)

- ・説明資料が広範詳細で、力作の企画と思った。担当学芸員の層が厚いと感じる。(定年退職後の方を再雇用された？)(60代・男性)
- ・すばらしい企画展示でした。博物館は 5 年ぶり、プラネタリウム(来週観覧の予備学習で来ました)は 15 年ぶりでした！今朝の東京新聞に大平貴之さんの記事があり、関連情報をネット検索したところ、この企画展が案内されていました。広報紙などひと通り目を通してありますが、見落としてました。もっと広報してください。たくさんの人に見てもらいたいです。(50代・女性)
- ・プラネタリウムの歴史や構造がよく分かり、良い学習になりました。冊子の内容が充実していて合わせて見るとさらによく分かりました。 質問:一球式の投影機はどのようにして歳差運動を再現するのでしょうか？(軸が一つ足りないように見えます)(40代、50代・女性、男性)
- ・ここに来た記念品とか土産があると PR になり助かる。(50代・男性)
- ・レアな実物が見られてすばしかなかったです。とても力の入った企画でした。101 年目、そして次のミレニアムを迎えられるといいですね！(50代・男性)
- ・やっと来れましたが、3 階まで上るのが大変でした 年齢 84 才女(80代・女性)
- ・初代からよく見に行っていたので、過去の作品、年表がとても興味深かったです。「双子の星」と「よだかの星」がとても印象に残っていて、毎週通っていた思い出が…プラネタリウムの投影機の歴史も勉強になりました。とにかくすべておもしろかったです。(50代・女性)
- ・資料は良い。展示がつまりすぎ、子供はどうか。イラストなどわかりやすく。(60代・男性)
- ・プラネタリウムがメインの展示は初めてだったので非常に勉強になり、面白かった。(50代・男性)
- ・プラネタリウムの仕組みと進化の過程が分かっておもしろかった。ボランティア解説員の方の説明も分かり易く 1 人で解説文を読むよりさらに理解できた。久しぶりにプラネタリウム上映を観たいと思う。(30代・女性)
- ・数十年ぶりに訪問しました。SNS でスペース X 関連の投稿を見たのがきっかけですが、展示もまとめられていて楽しめました。次回はプラネタリウムの上映にお邪魔したいものです。(60代・男性)
- ・プラネタリウム(大人向け)が、録画でなく生の解説だったのにはおどろきました。(50代・男性)
- ・今日縁があってお邪魔いたしました。プラネタリウム学芸員の方の素晴らしさだけでなく、展示も素晴らしかったです。また伺います。(50代・男性)
- ・平塚市のプラネタリウムは学校教育関係者の要望で当館開設時から設けられたとのこと。博物館運営は厳しいとの報道の多い今日、展示された貴重な資料は継続して平塚の遺産として守られることを切望します。(80代・女性)
- ・プラネタリウムの初回公開前のプレ上映に参加した者です。当時より幾度も足を運びました。約半世紀、プラネタリウムを継続下さり、有難うございます。(50代・男性)
- ・子ども向けアニメをきっかけに厚木の科学館からプラネタリウム入門。実家(他県)の近くにもありましたが、星にあまり興味がなくそこまで利用したことがありませんでした。今回しくみや歴史がよくわかって、また別の面を知ることができて大変おもしろかったです。元々地理、歴史に関心があるので、地学天体にも広げていきたいと思いました。伊能忠敬は地図を作ろうとしたのではなく、天文学を学びたくて始めたのですから、元は同じだと思ったので。(40代・女性)
- ・国内での歴史がよくわかり興味深かった。無料なのが申し訳ないくらい…(20代・男性)
- ・大人3人、3歳1人できました。じいじが一生けん命子供に教えながら観ていました。生活していると「地球はここだよ」(住んでいる星だよ)とか話題が出ないので、勉強になったと思います。(40代・女性)
- ・小学生の子供ときたが、展示には興味をあまり持たれなかった。大人としては理解できる内容だが子供がもっと興味をもてる工夫があるとよかったと思う。(40代・男性)
- ・おもしろさがあるけど、むずかしさのほうがおおい。もうちょっと時間をのばしてほしい。せつめいでふりがなでもいいから読みやすさがほしい。(小学生・男子)
- ・すばらしい特別展でした。また開催してもらいたいです。学芸員のかたの説明会もよかったです。(40代・男性)
- ・とても良い展示です。あらためて子どもと一緒にみたいと思いました。(40代・女性)

- ・1月6日、たまたま、博物館に来たら解説員のガイドをやっていたので、とてもラッキーでした。これからプラネタリウムに行ってきます！（40代・男性）
- ・先日宿泊した宿（山梨県のスター☆パーティ）で特別図録が置いてあったため、知ることができました。戦争が絡んだお話が印象的でした。プラネタリウムの歴史に触れることができ、楽しんだり、考えさせられたりできました。貴重な体験をありがとうございました。（30代・男性）
- ・特別展がはじまってから4回ほど観に来ました。特別展、プラネタリウムについて機械、しくみ、なぜプラネタリウムがひつようなのか、良く理解できます。もし機会があれば、「ノートのとれるプラネタリウム」もあると良いかと思います。（40代・男性）
- ・博物館でまたプラネタリウムを観るのが楽しみになる様な展示内容だったと思います。平博ならではの個性的な展示会で良かったです。（40代・男性）
- ・学芸大 OG より学芸員さんへ 学術的な博物館の展示全てにふざけたキャラクターがあり、不快だった。この平塚のプラネタリウムではなく、明石のプラネタリウムをデフォルメしているキャラのため誤解を招くと思う。ここは博物館であり、個人の文化祭みたいなノリ（写真提供も SNS）で、残念だ。そのようなことがしたければ、公的な場ではないところでやってほしい。資料が貴重なだけに本当に残念である。メーカーごとに統一されてないため展示内容がわかりにくい。（30代・女性）
- ・1度来て絶対また来ようと思っていましたが最終日になってしまいました。来られて良かった。貴重な写真の数々や戦争との関わりなどは始めて知ることができた。今のすごい投影機も良いが、当時のピンホール投影機の星が見てみたくなった。とても楽しい展示でした。（40代・女性）
- ・地元のプラネタリウムが全国的にもめずらしい場所であることを初めて知りました。星空散歩が面白くて、2年目となりましたが毎回ほぼ欠かさず参加できていることをラッキーだなと思います。古代の空を投影した歴史とからめた番組はもう1度見たいほどとても面白かったです。投影機の発達もわかりやすく、興味をもったので、他のプラネタリウムにもこれから足を運んでみたいと思います。ありがとうございました。（40代・女性）
- ・90年代平博プラネタリアン（バイト）でした。スライドやセル画、当時のコンソールを見てなつかしく思いました。また、平博のプラネタリウムに足をはこびたいと思います。（アクアマリンのCDも見れてよかったです。今はミマスさんの校歌の学校にいるんですよ）（50代）

「第 23 回博物館文化祭－ワーキンググループ活動 展示・報告会・実演－」開催報告

- 1) 会 期 令和 6 年 2 月 3 日 (土) ～25 日(日)
- 2) 展示会場 平塚市博物館 特別展示室
- 3) 主 催 平塚市博物館
- 4) 主 旨 博物館で活動する会員制ワーキンググループが、活動成果の発表を通じて相互の交流を深めるとともに、市民に広くその活動内容を紹介することを目的に開催。

5) 参加ワーキンググループ

生き物ズームプロジェクト 聞き書きの会 古代生活実験室 古文書講読会
石仏を調べる会 展示解説ボランティアの会 天体観察会 民俗探訪会 祭りばやし研究会 (実演のみ) (以上 9 団体、前回より 1 団体増)

6) 運営状況

参加ワーキンググループから選出された実行委員で実行委員会を組織し準備と運営を行った。会期については、参加グループからの要望の多かった開催日数を増やし、20 日間開催とした。開催告知用ポスターは、各ワーキンググループにデザインを募り、3 グループ (石仏を調べる会、天体観察会、民俗探訪会が作成) からデザインが集まった。ポスターは市内の広報掲示板への掲示をはじめ、市内の小中学校と公民館、市外の図書館・博物館へ送付し行事の周知に努めた。パンフレットは A5 縦判 12 頁とし、白黒印刷で 900 部印刷して博物館受付や特別展示室で配布するとともに、ポスターの発送時に同封して行事の周知に努めた。

展示は、各ワーキンググループの活動成果を実物資料や写真、ポスター形式の説明で紹介した。展示参加グループは 7 団体 (前回 7 団体) だった。展示会場には質問掲示板を設置し、観覧者が展示内容への質問や意見を質問用紙に記入してホワイトボードへ掲示、それをワーキンググループ会員または担当学芸員が回答して再掲示するというもので、質問と回答を全体で共有することを主な狙いとした。会期中に 23 件 (前回 8 件) の質問が掲示され、回答は X (旧 Twitter) でも行った。

活動報告会は、4 グループが行い、57 名が聴講にした。実演は 3 件 (前回 2 件) で、祭りばやし研究会の「古民家でお囃子を聴こう！」は 19 名が観賞、天体観察会太陽分科会の「太陽黒点を見よう」は、延べ 27 名 (前回 73 名) が参加、天体観察会プラネタリウム分科会の「会員によるプラネタリウム投影」は、2 日間 6 回行い延べ 70 名が観覧した。

会期中の入館者は 2,729 人 (前回 2,472 人)、一日平均では 136.5 人 (同 176.6 人) だった【表 1】。

【表1】過去8年間の博物館文化祭入館者数

	大人	こども	計	日数	こどもの割合	1日平均	参加団体数
R5年度(2024 2/3~2/25)	2,074人	655人	2,729人	20日	24.0%	136.5人	9
R4年度(2023 2/4~2/19)	1,804人	668人	2,472人	14日	27.0%	176.6人	8
R3年度(2022 2/5~2/20)	1,396人	321人	1,717人	14日	18.6%	122.6人	7
R2年度 開催中止	-	-	-	-	-	-	-
R1年度(2020 2/8~2/24)	2,269人	410人	2,679人	15日	15.3%	178.6人	10
29年度(2018 2/4~2/18)	1,549人	485人	2,034人	14日	23.8%	145.3人	12
28年度(2017 1/14~1/22)	1,421人	670人	2,091人	8日	32.0%	261.3人	12
27年度(2016 2/6~2/21)	2,279人	1,036人	3,315人	14日	31.3%	237.0人	12

7) 展示ワーキンググループとタイトル

ワーキンググループ名	展示タイトル
展示解説ボランティアの会	「ジオラマで見る平塚宿の今昔」
古文書講読会	「幕政から明治新政府への移行期の出来事～大磯宿御用留を読んで～」
天体観察会	「2023年度の天体観察会の取り組み」
石仏を調べる会	「平塚の庚申塔」
民俗探訪会	「私たちの調べた身近な疑問」
古代生活実験室	「実験考古学—とにかくやってみた—」
生き物ズームプロジェクト	「平塚市総合公園の自然観察」

8) 活動報告会

2月24日(土) 13時30分～15時40分

会場：講堂 参加者57人(前回39人)

時間	発表ワーキンググループ	発表タイトル	発表者
13:30		開会あいさつ	実行委員長
13:35	古文書講読会	幕末・明治の「助郷」について	三好 寛泰
14:05	石仏を調べる会	活動概要	中島 大士
14:25	休憩		
14:40	聞き書きの会	「記憶をつないで」第5集について	露木 正巳
15:05	民俗探訪会	中原・御殿の稻荷神社	平田明日香
15:30		閉会あいさつ	館長 浜野達也

9) 実演 当日整理券制 参加者 116人 (前回は93人)

ワーキンググループ名	タイトル	日時	会場	人数
祭りばやし研究会	古民家でお囃子を聴こう!	2月11日(土) 15:15~16:00	相模の家	19人
天体観察会 プラネタリウム 分科会	会員によるプラネタリウム 投影	2月10日(土) 15:30~17:00 2月18日(日) 15:30~17:00	プラネタ リウム室	70人
天体観察会 太陽分科会	太陽黒点を見よう	2月18日(日) 10:00~10:45	屋上	27人

10) 印刷物

・パンフレット:A5判12頁 庁内印刷 900部 ・ポスター:A3判 庁内カラーコピー 400部

11) 質問掲示板

掲示数:23件(前回8件)一部抜粋

- ・葬儀に関する展示が多かったように感じたのですが、結婚や出産、長寿の祝い等の慶事の際の風習やしきたりは調べるのが難しかったりするのでしょうか。
- ・神馬の奉納についての解説がありましたが、神馬の基準にはどのようなものがあったのでしょうか?産地や品種などでしょうか?
- ・「中原御林」「庚申塔」「高札場」等、読み方を知っている人ばかりではないと思います。読みがなをもっとふってほしいです。
- ・古代米は今のお米となにが違うんですか
- ・千葉県で生まれた私は、お祝い事には赤飯、葬儀のときには赤く染めない物を配るという様に今迄思っていました、それを行わない地方があったとは知りませんでした。関東地方に多いのでしょうか?
- ・平塚宿と須賀との関係性は比較的取り扱われていますが、平塚宿と金目川・花水川水系、さらに大磯港や大磯宿との関係性についてはほとんどふれられていないケースが多々あるようですが、どうなのでしょう。金目川・花水川及びその周辺の歴史・考古をもっと掘り下げていくと、新しい仮説が出てくるかもしれません。
- ・金目観音堂の建教目的?金目川大こう水の歴史は?(秦野水無川から金目川、花水川へ流れる)
- ・日本人が「神」と言われて受け入れにくく感じる理由がわかりました。キリスト教とのゆう合についても知りたいです。
- ・同じ庚申塔でも、地域によって種類(文字、猿など)が違うのはなぜですか?
- ・全員全員で研究発表してありバランスがあり良かった 来年も同じ発表してもらいたい。
- ・私の故郷札幌の東本願寺系では、葬式や法事で「黒白おこわ飯」(お黒飯、おこわ(白飯)に黒豆

が入っていて塩味)が出されます。又、札幌での赤飯は「甘納豆」(そうです、あの、砂糖煮の)が入ったおこわです。入植地で多数の地方の人々が寄った所だからかもしれません。

- ・ 神奈川県内の地名の由来は興味深いですが、朝鮮語からと博物館展示の中で断定してしまうのはマズイのでは？
- ・ 宿駅で隣宿まで行った人馬や飛脚は休んだら拠点の宿(本地?)に戻ったと思うのですが、いわゆる「リターンプレート」をこっそりやって、お小遣いを稼ぐ様なことはあったのでしょうか？
また、受け持ちの宿範囲(たとえば小田原-大磯-平塚を行ったり来たりする)は定まっていたのでしょうか？
- ・ 平塚市(相模川)と足柄の窯を古代人が行き来した交通しいだんはどのようなルートが考えられますか？(熊本県宇土市古代船「海王」)のような準構造船が存在したのでしょうか？
- ・ 古代の川を古代船で瓦など重いものを運ぶとしたら古代船の大きさなど、現時点で遺物など判明していることはありますか？平塚市内の川津の大きさなどから逆算して船の規模を調べるにはどんな資料が参考になりえますか？

12) 来場者アンケート結果：

○回収枚数 15枚(前回9枚)

○記入者の住所 平塚市内10人、平塚市外県内4人、県外関東地方0人、関東地方以外1人

○記入者の性別 男性11人、女性2人

○開催情報の入手(*複数回答有)

広報 ひらつか	博物館 HP	あなたと 博物館	新聞等	ポスタ ー	口コミ	SNS	知らな かった	その他
6人	5人	3人	0人	2人	0人	0人	1人	2人

○満足度

興味深い	やや興味深い	ふつう	ややつまらない	つまらない
6人	4人	4人	0人	1人

○むずかしさ

とてもわかりやすい	わかりやすい	ふつう	ややむずかしい	とてもむずかしい
5人	5人	5人	0人	0人

○総合評価

とても良い	良い	ふつう	もう少し	良くない
5人	7人	2人	1人	0人

○年代

~19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
1人	0人	2人	3人	1人	1人	6人	1人

<感想・ご意見>一部抜粋

- ・祭りばやし研楽しかった。
- ・たまに漢字もあるけどフリガナがあるのでわかりやすくいいと思います。
- ・写真や絵図が多くとても見やすいです。また実物も展示されているので大変興味がそそられま
- ・個性があって面白かったです。人によって着眼点やアプローチが違い、参考になりました。
- ・全部面白かったです。元々生きものが好きなので生きものズームが良かったです。虫は苦手でしたが、映像に見入ってしまいました。また、路肩にあんなにかわいい石仏があるのかと驚きました。盗まれずにみんなで大切にしていけたらと思いました。
- ・地学班もがんばれ！。
- ・良く整理されており見学も楽しくでき孫等を次回に連れてくる予定です。
- ・展示はどれも力作揃い。楽しめました。
- ・それぞれの研究会には必ずしも専門家ばかりではないと思うが、それでも多くのことが分かりやすく展示されていたのでとても良かったです。
- ・とても良く調べられており、もっと長い期間でも良いと思いました
- ・「太政官札」の例示が古銭目録(?)なのは何とかならないのかとも思いました。
- ・古文書講読会:0R コードでより展示の意味を理解できた。御用留の役割が明治維新の様々な制度が地元で普及する様子が良くわかった。
- ・民俗探訪会:葬儀に赤飯や縁切りの伝承はおどろきました。野外活動の報告から活動の様子がうかがえます。
- ・天体観察会:写真とともに感想のひと言が作者の思いが伝わりました。

<調べたい・知りたいと思っていること>

- ・古文書研。
- ・天文に関するニュースが流れると平塚の学芸員さんが登場します。普段どんな仕事をされているのでしょうか?今回の展示の写真は美しく絵葉書になってほしいと思いました。パール富士などとてもきれいです。友人、知人に送りたいほどの写真でした。ありがとうございました。
- ・1、平塚市周辺(西相模)の中世の城や館 2、鎌倉古道巡り 3、日本武尊の足跡調査
- ・幹線道路の変遷など
- ・全く別件なのですが、常設展示で「地震」に関する項目を充実させていただくのはいかがでしょうか?二階の戦争コーナーの奥のショーケース部を関東地震パネルと平塚市のこれからの取り組みといった内容に出来たら地域の博物館としての目玉になるかな?特に、去年は県内の資料館で関

東大地震パネル展やってみましたし、今年は元日から能登も地震でしたし…。

- ・外国人留学生との交流団体を作り、もう 20 年近くになりました。体力と時間があればぜひ連れて来たいと思いました。有難うございました。
- ・民俗探訪会などに興味があるが学生のため、平日活動だと少し参加しづらく思いました（涙）
- ・平塚がどのように出来たか、近世の暮らし・社会の仕組みと現代を比較しながら平塚らしさの一端を知る機会が楽しみです。

1 3) プラネタリウム観覧者アンケート結果：

○回収枚数 50 枚

<感想・ご意見> 一部抜粋

- ・緊張のせいか指示ライトがぶれていましたが楽しかったです。串団子おもしろかったです。天体観察会会員によるプラネタリウム投影一本で来ました。手作り感があってとても良かったです
- ・博物館文化祭の目玉企画になると思いますので、来年もぜひ開催してください。
- ・ハレー彗星の尾の長さは驚いた。みられて良かった。3人の説明はそれぞれ特色があって良かった。赤松さんの説明は上手。斎藤さんのBGMは何？
- ・休憩の時間の音楽が新鮮でよかった。月と土星の食がきれいに観れてよかった。
- ・今夜から空をたくさん見ようと思いました！
- ・天文現象 テーマが絞られていて初心者にわかりやすかった。
- ・日時がいろいろと変わり、時間の割にはいろいろな量の名前が出てきて少しわかりにくかった。もう少し絞ってもいいと思った。
- ・内容も解説もとっても面白いです！！先週も来ればよかった…と悔やみつつ、今日来て良かったです。素敵な会員の活動拝見させていただき感謝です。応援しております。”
- ・望月さんの説明のはやさがすごくよく、楽しく観れました。つづきが聞きたいです。
- ・2才児でも楽しめる長さ・内容で良かったです。
- ・皆さんとても上手でした。
- ・楽しく、いやされながら観ることができました。
- ・ストーリーが入ってきやすく、とても良かったです。街中、田舎、里山と星の見え方が変わっていく投影がとても良いです。
- ・誕生月の星座はその月に見ることはできないと初めて知りました。
- ・誕生星座が(夜)、いつの時間に見られるかがわかった。テーマが良かった。
- ・冬の星座、冬の大三角、六角を中心にまとまっていた。ナレーションも良かった。”

●情報発信（ホームページと YouTube・SNS）

表 1 平塚市博物館ホームページ訪問数

年度	訪問数												総訪問数
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
2019	25,341	28,945	20,781	25,587	30,663	21,877	22,078	27,657	22,303	23,149	20,375	22,326	291,082
2020	20,780	24,312	21,356	26,149	30,037	28,219	23,885	20,902	22,593	23,041	25,531	24,918	291,723
2021	25,188	32,612	30,572	32,833	28,436	27,063	27,293	27,166	25,422	13,412	20,205	22,316	323,563
2022	23,427	28,031	27,578	29,295	35,968	31,919	31,217	33,307	26,848	28,430	25,681	30,783	352,484
2023	26,548	36,108	27,282	31,296	36,062	30,517	37,744	25,131	20,710	25,642	22,100		319,140

※（斜体はデータ消失のため、該当データを除く 2015～22 の平均値で補完） 2月末現在

表 2 平塚市博物館（HIRAHAKU）Youtube 視聴回数

年度	視聴数（2018年3月まで 66,450）												総視聴数
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
2019	669	1,584	442	4,008	1,258	457	525	2,819	1,594	1,077	695	1,533	16,661
2020	3,039	6,693	13,272	5,959	3,710	2,110	1,656	1,608	1,549	1,029	1,071	2,756	44,452
2021	3,338	3,637	3,309	5,151	4,105	3,914	3,026	2,622	2,583	7,783	8,596	12,156	60,220
2022	9,288	9,957	9,449	7,976	9,550	7,259	6,133	5,372	4,973	6,111	6,805	6,710	89,583
2023	9,125	13,648	8,915	7,772	7,719	6,317	6,702	3,824	3,058	4,392	3,714		75,186

開始（2011/1/9）から 2024年2月末までの累計 384,459

表 3 平塚市博物館（HIRAHAKU）Youtube チャンネル登録者数

年度	チャンネル登録者数（2018年3月まで 49）												総数
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
2019	2	2	1	-1	0	2	-1	3	1	1	2	3	15
2020	54	102	76	21	17	5	6	9	3	3	8	38	342
2021	53	39	40	78	68	34	22	16	15	106	112	248	831
2022	105	97	79	60	75	38	45	32	17	51	40	56	695
2023	75	120	61	26	24	35	44	24	10	30	30		479

開始（2011/1/9）から 2024年2月末までの累計 2,447人

表 4 平塚市博物館（HIRAHAKU）Youtube の毎月の視聴回数と累計チャンネル登録者数

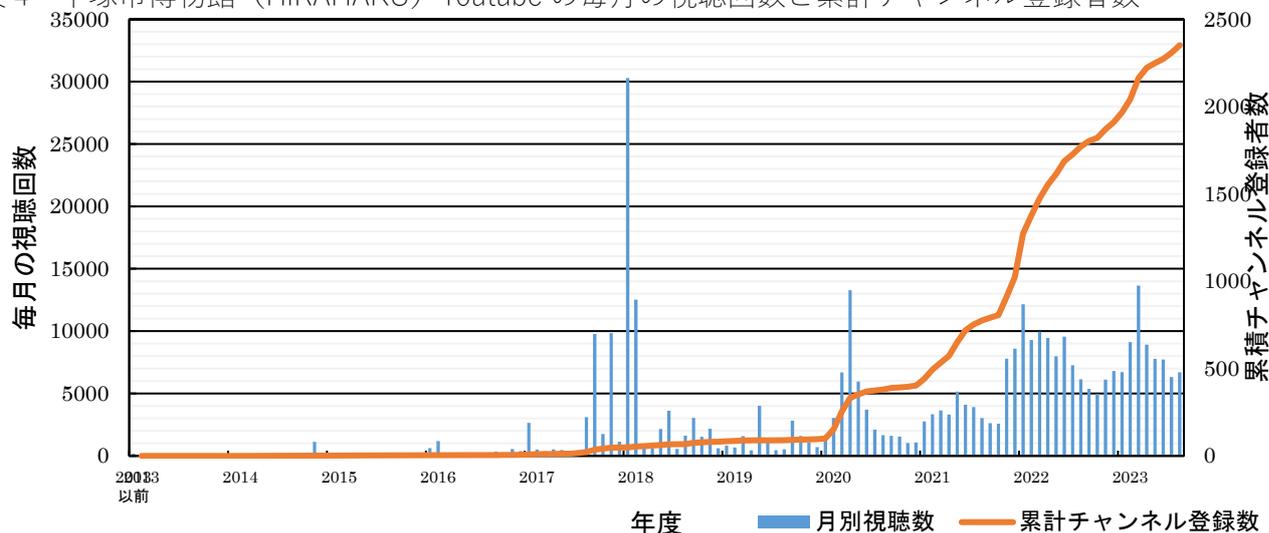
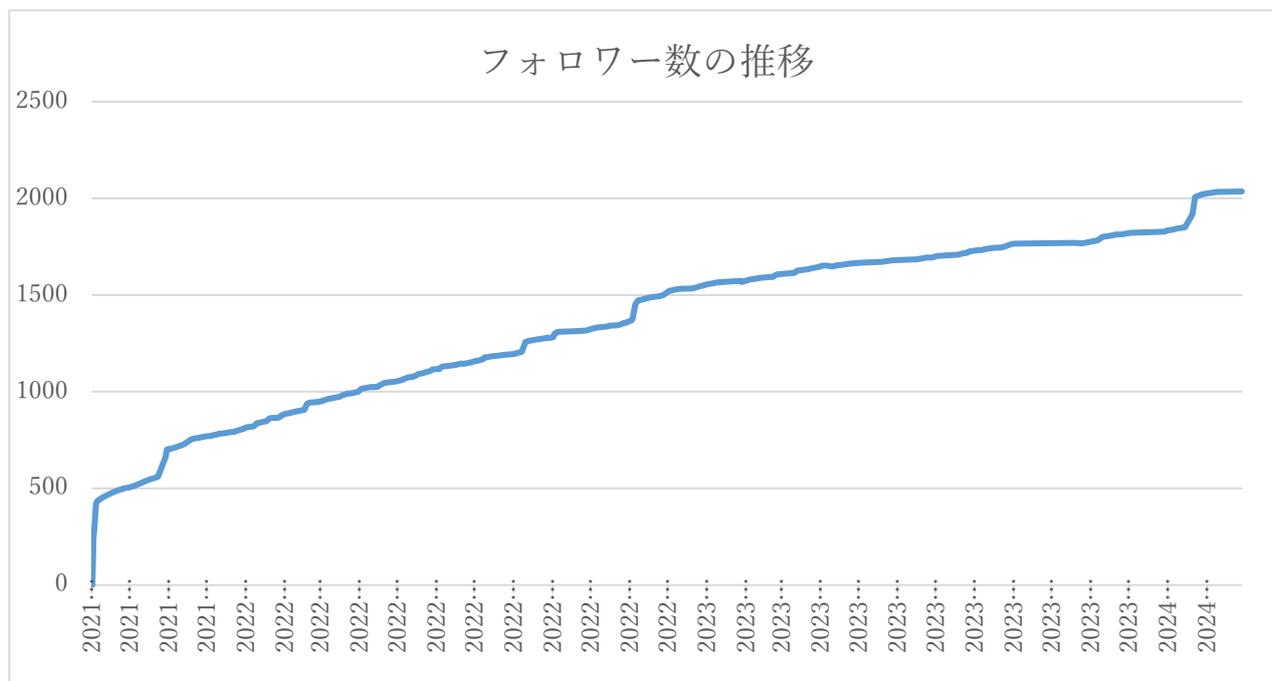


表5 「おうちで楽しむはくぶつかん」(HIRAHAKU) Youtube 視聴回数ランキング (4/1~10/31)

タイトル	公開日	R5年度 再生回数	前回 順位	R3.3からの 通算再生回 数	通算 順位
1 5分でわかる平塚学入門「どっこい神輿と甚句」	2022/7/29	7,160	1	10,284	2
2 おうちでプラネタリウム (藤井大地 学芸員)	2020/4/18	5,332	2	20,884	1
3 【反省会】2023年度夏期特別展「茶色ばかりじゃないんだぞ!~カラフルな考古資料たち~」	2023/8/31	3,473	3	3,360	11
4 5分でわかる平塚学入門「中原御殿」	2021/3/26	2,785	4	7,979	3
5 2019年5月25日夜に平塚から見たスターリンク衛星	2019/5/16	2,291	5	5,329	7
6 5分でわかる平塚学入門「伊勢原台地と伊勢原断層」	2022/1/14	2,162	8	5,846	6
7 5分でわかる平塚学入門「戦後復興と復興まつり」	2022/3/11	2,001	6	3,204	12
8 5分でわかる平塚学入門「平塚はプレートの境界だった」	2021/5/21	1,880	7	5,161	8
9 5分でわかる平塚学入門「関東大震災と平塚」	2022/8/26	1,636	9	2,454	20
10 【モノづくりエイター】老眼鏡で月面クレーター観察	2021/9/8	1,578	10	2,172	22
鎌倉殿と平塚の七人 第1回_真田与一義忠	2022/1/23	267	—	7,507	4
おうちでプラネタリウム (塚田健 学芸員)	2020/4/18	1,149	—	6,771	5
鎌倉殿と平塚の七人 第2回_岡崎四郎義実	2022/2/20	216	—	4,785	9
5分でわかる平塚学入門「古墳を作った大豪族」	2021/3/26	906	—	3,759	10

表6 平塚市博物館 (HIRAHAKU_) X (旧 Twitter)

2021/9/7 新規開設。令和6年度は2月末現在 582 ポスト発信。フォロワー数 2,036 人。



平塚市 (公式) LINE

2021/7/26 から配信開始。概ね週1回投稿で、令和5年度は30回 (10/31 現在) の投稿を行った。運用開始からの総投稿数は142回。登録者数 22,486 人 (17,306 人)

「ひらはく展示+」運用統計

月	期間日数	アクセス数			
		ユーザー	イベント数	新規ユーザー	日平均
2023年8月	13	52	215	52	16.54
2023年9月	30	270	1173	268	39.10
2023年10月	31	149	691	143	22.29
2023年11月	30	107	483	98	16.10
2023年12月	31	122	604	117	19.48
2024年1月	31	91	517	80	16.68
2024年2月	29	68	346	60	11.93
2024年3月	31				0.00
期間計		859	4,029	818	4.69

※ 7月から本格運用を開始したが、サーバーエラーのため7月と8月でデータ欠測

令和6年度 社会教育部予算編成

	(単位:千円) 令和6年度当初	(単位:千円) 令和5年度当初	(単位:千円) 前年度比
一般会計 計	100,250,000	87,610,000	12,640,000
教育委員会予算(教育費) 計	14,134,665	9,103,965	5,030,700
社会教育部(職員給与費除く) 計	1,729,441	1,721,726	7,715
社会教育費(職員給与費除く)	1,507,327	1,573,551	-66,224
社会教育課・・・社会教育総務費	55,675	54,835	840
中央公民館・・・公民館費	755,272	930,679	-175,407
中央図書館・・・図書館費	380,221	328,663	51,558
博物館・・・博物館費	87,626	88,872	-1,246
・・・市史編さん費	3,127	3,465	-338
美術館・・・美術館費	225,406	167,037	58,369
保健体育費(職員給与費除く)	222,114	148,175	73,939
スポーツ課・・・保健体育総務費	46,307	45,187	1,120
・・・体育施設費	175,807	102,988	72,819

博物館 令和6年度歳出予算一覧

博物館特別展事業

費目	主な支出内容	R5予算	R6予算	前年度差
報償費	展示協力者・資料提供者謝礼	486	486	0
旅費	調査・資料収集出張旅費	54	54	0
消耗品費	特別展示用消耗品	640	640	0
印刷製本費	図録等印刷代	3,258	3,258	0
通信運搬費	資料等運搬費	88	88	0
委託料	特別展用看板・パネル等製作委託料	780	780	0
原材料費	展示等作成用原材料	56	56	0
事業費計		5,362	5,362	0

博物館教育普及活動推進事業

費目	主な支出内容	R5予算	R6予算	前年度差
報償費	展示協力者・資料提供者謝礼	2,375	2,375	0
旅費	調査・資料収集出張旅費	262	239	-23
消耗品費	調査研究・展示・プラネ・OA機器消耗品等	1,051	1,051	0
印刷製本費	ポスター・出版物、写真DP等	1,307	1,104	-203
物品修繕料	展示機器・プラネタリウム機器等修繕料	2,790	2,790	0
通信運搬費	寄贈資料等運搬費、アンケート調査郵送費	44	44	0
委託料	資料等保存処理委託等(金属器・D52・剥製等)	900	1,271	371
使用料賃借料	プラネタリウム設備、OA機器リース料等	23,237	23,237	0
原材料費	展示等作成用原材料	49	49	0
備品購入費	研究活動用機材等	300	300	0
負担金	博物館協会等年会費等	88	88	0
事業費計		32,403	32,548	145

博物館協議会事業

費目	主な支出内容	R5予算	R6予算	前年度差
報酬	博物館協議会委員報酬	170	170	0
事業費計		170	170	0

博物館管理事業

費目	主な支出内容	R5予算	R6予算	前年度差
報酬	会計年度任用職員	741	779	38
旅費	会計年度任用職員通勤手当	39	21	-18
消耗品費	管理用事務用品等	506	448	-58
光熱水費	電気・ガス・水道代等	10,319	9,884	-435
物品修繕料	備品等修繕料	300	300	0
施設修繕料	設備等緊急支出用修繕料等	3,580	1,958	-1,622
通信運搬費	電話・FAX代等	344	354	10
手数料	各種設備法定検査費用(水質・煤煙)	55	55	0
保険料	建物総合損害共済分担金	66	68	2
委託料	施設管理委託料等	32,053	32,829	776
使用料賃借料	施設リース料(城島プレハブ)等	1,269	1,185	-84
事業費計		49,272	47,881	-1,391

博物館情報システム事業

費目	主な支出内容	R5予算	R6予算	前年度差
報償費	情報機器入力作業協力者謝礼	168	168	0
消耗品費	WEBシステム用消耗品	36	36	0
委託料	レンタルサーバ運用費(30費目変更)	119	119	0
使用料賃借料	WEB関連機器リース料	1,342	1,342	0
事業費計		1,665	1,665	0

市史編さん事業

費目	主な支出内容	R5予算	R6予算	前年度差
報酬	会計年度任用職員報酬	1,112	1,152	40
職員手当等	会計年度任用職員期末手当	223	432	209
報償費	執筆協力者・資料整理協力者謝礼等	1,561	1,034	-527
旅費	会計年度任用職員通勤手当	58	15	-43
消耗品費	事務用品等	170	311	141
印刷製本費	資料等印刷代	100	50	-50
通信運搬費	図書館施設電話代	167	59	-108
委託料	OA機器保守委託料(複合機)	74	74	0
負担金	県歴史資料取扱機関連絡協議会年会費	0	0	0
事業費計		3,465	3,127	-338

令和6年度各事業の概要と予算

事業名	事業概要	予算 (単位:千円)
1 博物館特別展事業 【実計】	学芸員が収集・調査・研究した成果を市民の知的共有財産とするため、特別展を開催し、その成果を分かりやすく具体的に展示します。令和6年度は、生物、民俗、歴史の各分野の特別展を開催します。	5,362
2 博物館教育普及活動 推進事業 【実計】	市民の生涯学習に役立てるため、体験学習、各種の講座、野外教育活動、プラネタリウム投影等を実施します。また、考古分野の遺物保存処理、アナログ映像のデジタル化等を進めます。	32,548
3 博物館協議会事業	博物館の運営全般にわたる諮問及び協議を行うため、博物館協議会を開催します。	170
4 博物館管理事業	博物館の安全かつ快適な施設環境を保持するため、施設の適切な維持管理を行います。	47,881
5 博物館情報システム事業	市民に地域への関心を深めてもらうため、博物館が集めた平塚及び相模川流域に関する情報を広くインターネットで発信します。	1,665
6 市史編さん事業	本市の歴史的発展過程を振り返り、郷土に対する市民の関心を高めるため、平塚市史を編さんします。 『平塚市史 年表編』を刊行します。	3,127
総計		90,753

展 示

夏期特別展「標本で！植物観察」では、博物館が所蔵する植物標本でじっくり観察する、をテーマに身近にみられる植物を紹介します。秋期特別展では、市内各地域の講で回されていた道具や地蔵・不動などの巡行仏を紹介し、「第24回博物館文化祭」では、博物館で活動するワーキンググループの活動成果を展示発表します。春期特別展では、平塚にゆかりの社会や文化の発展に寄与した近代の女性たちを平塚人物史研究会との協働で紹介しします。

1階寄贈品コーナーでは概ね月替わりで各分野のテーマ展を開催します。2階情報コーナーでは特別展のダイジェスト展や博物館学芸員実習生による企画展などを開催します。

特別展	春期特別展 「ひらつかの古道をゆく」(人文合同)	2024 3月 20日 ~ 5月 19日
	夏期特別展 「標本で！植物観察」	2024 7月 20日 ~ 9月 4日
	秋期特別展 「(仮)家を廻るお地蔵さん」(民俗)	2024 10月 19日 ~ 12月 22日
	第24回博物館文化祭 -ワーキンググループ展示・活動報告会・実演-	2025 2月 7日 ~ 2月 27日
	春期特別展 「(仮)近代ひらつかの女性たち」(歴史)	2025 3月 20日 ~ 5月 18日
寄贈品 コーナー	天文 「流星の故郷を探して~シチズンサイエンス~」	2024 3月 1日 ~ 4月 7日
	自然系 「新着資料展 -自然分野-」	4月 11日 ~ 5月 12日
	人文系 「新着資料展 -人文分野-」	5月 16日 ~ 6月 30日
	歴史 「平塚空襲」展	7月 4日 ~ 8月 18日
	考古 「未定」	8月 22日 ~ 9月 29日
	「令和6年度 平塚市指定重要文化財展」(教育委員会社会教育課)	10月 4日 ~ 11月 4日
	地質 「(仮)鉱物」展	11月 9日 ~ 12月 15日
	天文 「(仮)火星接近」	12月 19日 ~ 2月 2日
	生物 「みんなで調べよう「平塚のカマキリ」結果報告！」	2025 2月 7日 ~ 4月 6日
情報 コーナー	天文 ポスト特別展「天象儀100年の軌跡~プラネタリウムの仕組み編~」	2024 1月 18日 ~ 4月 7日
	天文 ポスト特別展「天象儀100年の軌跡~プラネタリウムの歴史編~」	4月 12日 ~ 6月 2日
	地質 (仮)ミニ恐竜展in hirahaku アロサウルス襲来	6月 20日 ~ 9月 1日
	博物館実習展示	9月 13日 ~ 9月 25日
	天文 (仮)県内プラネの歴史	9月 28日 ~ 11月 17日
	生物 (仮)中勘助と鳥、の物語	11月 23日 ~ 1月 13日
	民俗 ポスト特別展	2025 1月 18日 ~ 終期 未定

プラネタリウム

プラネタリウムの一般投影は、毎週土・日曜日と、春・夏・冬休み期間中の水・木曜日に、1日2回、70名の定員で実施します。特別投影等も実施する予定です。また、幼児団体投影・学習投影は予約制で水・木・金曜日の午前を実施します。特別投影の星空音楽館はコロナ禍の中止を経ての復活です。

一般投影	一般向け投影 見えないブラックホールを見る	2024 3月 2日 ~ 5月 5日
	一般向け投影 月を詠み星を綴る~王朝文学に刻まれた月と星~	5月 11日 ~ 7月 14日
	一般向け投影 銀河鉄道に乗って	7月 20日 ~ 9月 1日
	一般向け投影 リフトオフ!~ロケット打ち上げを見よう~	9月 7日 ~ 10月 27日
	一般向け投影 フリートーク・プラネタリウム	11月 2日 ~ 12月 1日
	一般向け投影 2025年の天文現象	12月 7日 ~ 1月 26日
	一般向け投影 VTuber 星見まどかと探る太陽系の衛星のヒミツ	2025 2月 1日 ~ 4月 6日
	幼児向け投影 やどかりくん まんげつのひみつきち	2024 4月 6日 ~ 8月 31日
	幼児向け投影 すいせいゴエモンのぼうけん	9月 7日 ~ 12月 28日
	幼児向け投影 未定	2025 1月 4日 ~ 3月 29日
特別投影	星空散歩 (偶数月、月初の土または日、6回)	2024 4月 ~ 2月
	「ひらはくオールスターズ」(5・9・1月の月初の土または日、3回)	5月 5日 ~ 1月
	星空タイムトラベル	6月・10月
	星空音楽館 (4回)	2024 5月 ~ 1月
コンサート	シアトリカル・プラネタリウム (雑貨団、1回)	未定
	プラネタリウム・コンサート	未定

各種普及行事

申込制 行事	考古	体験学習「昔の方法で火を起こそう」	未定	
		体験学習「カラフルな勾玉をつくろう」	8月	
		考古学入門講座（3回）	9月～12月	
	歴史	郷土史入門講座（3回程度）	2025	1月～3月
	民俗	石仏めぐり	11月	3日
		体験学習「お飾りをつくろう」	12月	21日
		「館長の民俗学入門」講座	5月～	2月
	地質	自然観察入門講座「相模川流域ジオツアー入門」(3回)		9月～1月
		体験学習「化石レプリカをつくろう」	2024	8月14日
		地球科学入門講座	2025	1月～3月
	生物	自然教室（6回）	2024	4月～3月
		体験学習「手羽先骨格標本をつくろう」		7月31日
		キノコの観察会		10月
	天文	星を見る会（10回）		4月～3月
		天文学入門講座「銀河の世界」、「彗星の科学」各4回	2024	4月13日～12月15日
		最新天文学講座（2回）		未定
		プラネタリウムを操作してみよう		未定（夏）
	総合	こどもフェスタ		4月27日・4月28日
		平塚学講座		9月～12月
自由参加	民俗	ろばたばなし	月1回 日曜日	
		学芸員が語る「相模の家のくらし」	ろばたばなしと同日	
	地質	化石ペーパークラフトをつくろう	6月～8月	
	天文	体験学習「不思議な板で万華鏡を作ろう」(4回)	8月2日	
会員制 行事	考古	平塚の古代を学ぶ会	毎月1回水曜日	
		古代生活実験室	毎月1回木曜日	
		東国史跡踏査団	毎月1回土曜日	
	歴史	古文書講読会	毎週金曜日	
		裏打ちの会	毎月1回水曜日	
		平塚の空襲と戦災を記録する会	毎月1回土曜日	
		地域史研究ゼミ	毎月1回土曜日	
	民俗	石仏を調べる会	毎月第二第四木曜日	
		民俗探訪会	毎月第三水曜日	
		祭りばやし研究会	毎月1回土曜日	
		聞き書きの会	毎月第二火曜日	
	地質	地球科学野外ゼミ（野外6回、室内5回）	毎月1回_土or日曜日	
	生物	生き物ズームプロジェクト	毎月1回日曜日	
	天文	天体観察会	毎月1～2回土・日曜日	
		流星観察会	毎月1～2回土・日曜日	
	総合	展示解説ボランティアの会	定例会、毎月1・3木曜日	

その他の全館的事業

館内のくん蒸・消毒に伴う休館	2024	6月4日～	6月14日
博物館実習	2024	9月4日～	9月12日